

比較文化論Ⅰ

科目ナンバリング HIS-301
選択 2単位

藤田 敏明

1. 授業の概要(ねらい)

主題——文化における「夢、狂気、舞踏」

文化現象においては、「正常」を踏み外した「異常」(そもそもこの定義自体があやふやともいえるが、ここではそれはひとまず置いておく)異常=「狂気」と呼ぶべき状況において、より精彩を放つ事象が存在する。「狂気」はしばしば「夢」とも通底し、それが身体的に体现される場合は、「舞踏」を伴う傾向そのような『三位一体』の具体例をいくつか取り上げ、詳細に考察することによって、文化現象のダイナミズムを理解していきたい。がある。

2. 授業の到達目標

文化・文明とは何か、人間存在とはどういうものか、について、自分の頭脳で考え、自分の言葉で問いかけを発し、答えを模索できるようなhuman being たりうること。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業の小レポートにおける授業内容理解55%、期末レポート45%。ただしレポートは必須。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は指定せず、教員からのハンドアウト、および映像で授業を進める。参考文献は適宜参照する。

5. 準備学修の内容

西洋文明に関する最低限度の知識は授業前に必要。授業開始以後は、自己の持つ知識を授業内容との相互チェック。

6. その他履修上の注意事項

自分の今までに持っている狭い範囲の「知識」ではなく、広範な『視野』を持てるようになり、自分の頭脳で考え、自分の言葉で「語る」能力を身に付けてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション。中国、莊子『胡蝶の夢』、映像「魔法使いの弟子」
- 【第2回】 夢の中の不思議な世界——『不思議の国のアリス』前半
- 【第3回】 後半
- 【第4回】 アリス、パレエヴァージョン 前半
- 【第5回】 後半
- 【第6回】 ドン・キホーテの夢と狂気——映画『ラ・マンチャの男』前半
- 【第7回】 後半
- 【第8回】 パレエ『ドン・キホーテ』前半
- 【第9回】 後半
- 【第10回】 シェイクスピア「ハムレット」一、二幕
- 【第11回】 3,4幕
- 【第12回】 ラスト
- 【第13回】 オペラ「カルメン」恋の狂気一幕
- 【第14回】 二幕
- 【第15回】 3,4幕